

令和3年度 一番茶萌芽・生育状況報告

佐賀県茶業試験場

1. 萌芽期

本 年	前 年	前3か年平均
3月 28日	3月 27日	3月 29日

2. 生育状況

調査日	4月5日	4月10日	4月15日	4月20日	4月25日
芽長 (cm)					
本 年	2.77 ± 0.59	4.47 ± 0.87	6.99 ± 1.10	9.27 ± 1.20	13.16 ± 1.53
前 年	1.33 ± 0.36	2.09 ± 0.57	3.39 ± 0.75	5.55 ± 1.01	7.65 ± 1.12
前3か年 平 均	1.62 ± 0.42	3.06 ± 0.71	5.19 ± 0.92	7.90 ± 1.21	10.60 ± 1.53
葉数 (枚)					
本 年	1.03 ± 0.34	2.11 ± 0.43	2.78 ± 0.41	3.45 ± 0.39	4.53 ± 0.37
前 年	0.28 ± 0.25	1.08 ± 0.45	1.70 ± 0.42	2.48 ± 0.34	3.23 ± 0.39
前3か年 平 均	0.59 ± 0.32	1.32 ± 0.43	2.21 ± 0.44	3.06 ± 0.38	3.99 ± 0.41

3. 晩霜と最低気温

終霜月日	本年	4月19日 (3.2)	前年	4月6日 (0.7)
最低極温	本年	1月9日 (-5.8)	前年	2月6日 (-2.9)

注) 終霜月日は日最低気温4 以下を目安に判断

4. 供試茶園の概況 (平成30年度より作況調査ほ場を変更)

- (1) 品 種 名: やぶきた
- (2) 樹 齢: 20年生
- (3) 樹 高: 67cm
- (4) 株 張 り: 156cm
- (5) 栽植様式: 畝幅 180cm、株間 50cm、条間 50cm (二条植え)
- (6) 施肥量: N : P : K = 50 : 20 : 18 kg/10a (年間7回分施)
- (7) 備 考: 令和元年の一番茶摘採後に中切り更新を実施

5. 概要

1) 気象条件 (茶業試験場内観測)

(1) 気温

1月から4月の平均気温は、1月上、中旬および4月中旬は前5か年平均より低かったが、1月下旬～4月上旬および4月下旬は前5か年平均より高く推移した。

(2) 降水量

1月から4月の降水量 (積算値) は、1月 41.0mm (前5か年平均比 54%、以下同様)、2月 134.0mm (124%)、3月 133.0mm (98%)、4月 94mm (48%) であり、1月は前5か年平均より少なく、2月は前5か年平均より多く、3月は前5か年平均並であった。

新芽生育期である4月は、上旬が前5か年平均比10%、中旬が同42%と非常に少なかった。下旬は同97%で前5か年平均並であった。

1月から4月までの期間降水量は前5か年平均比78%であった。

(3) 日照時間

1月から4月の日照時間(積算値)は、1月135時間(126%)、2月153時間(118%)、3月167時間(97%)、4月212時間(114%)で、1、2、4月は前5か年平均より多く、3月は前5か年平均並であった。

(4) 降霜

作況調査ほ場において、一番茶萌芽後の4月19日に低温(最低気温3.2)に遭遇したが、被害はみられなかった。一方で、場内の一部晩生品種茶園や防霜ファン等の設備がない茶園において凍霜害がみられ、生育遅延や収量の低下がみられた。

2) 萌芽・生育状況

本年の萌芽期は3月28日で、前年(3月27日)より1日遅く、前3か年平均(3月29日)より1日早かった。

生育は、萌芽前の2、3月の気温が前5か年平均より高く、2、3月の降水量が前5か年平均並~多かったことから萌芽後、新芽の初期生育は順調に進んだ。4月上、中旬にほとんど降雨がなかったものの、気温の上昇に伴い、芽の伸長および葉の開葉は、前年および前3か年平均より早く進んだ。新芽生育期に低温・少雨となった前年と比較すると生育速度は5日程度早く、一番茶の摘採は前年より5日、前3か年平均より2日早かった。

萌芽から摘採までの所要日数は28日間(積算温度408)で、前3か年平均の29日間(積算温度404)より1日短かった。

3) 病害虫の発生状況

作況調査ほ場で一番茶の生育および収量に影響を及ぼすほどの病害虫の発生はなかった。

令和3年度 一番茶実収報告

佐賀県茶業試験場

1. 摘採日

本年	前年	前3か年平均
4月 25日	4月 30日	4月 27日

2. 生葉収量 (kg/10a)

本年		前年		前3か年平均	
収量	指数	収量	指数	収量	指数
518.9 ± 30.4	92 (120)	432.8 ± 12.3	76	567.1 ± 39.2	100

注) 指数は、前3か年平均を100とした値であり、本年の下段括弧内の値は前年比を示す

3. 百芽重 (g)

本年		前年		前3か年平均	
重量	指数	重量	指数	重量	指数
71.2 ± 3.3	95 (115)	61.9 ± 6.9	82	75.3 ± 6.3	100

4. 新芽数 (本/m²)

本年		前年		前3か年平均	
芽数	指数	芽数	指数	芽数	指数
1100 ± 35	86 (85)	1292 ± 161	101	1278 ± 139	100

5. 出開度 (%)

本年	前年	前3か年平均
25.7 ± 8.2	28.3 ± 1.5	30.4 ± 5.0

6. 作況調査園の概要

- 1) 摘採日は、4月25日で前年より5日、前3か年平均より2日早かった。
- 2) 本年の生葉収量は519kg/10aで、前年より20%多く、前3か年平均より8%少なかった。
百芽重は71.2gで、前年より15%多く、前3か年平均より5%少なく、1m²当たりの新芽数は1100本で、前年および前3か年平均より15%程少なかった。
出開き度は25.7%で、前年および前3か年平均よりやや低かった。

7. 本県の概要

現場における新芽の萌芽、生育は、前年と比べて1週間程度早く、特に早生品種で早い傾向であった。

病害虫の発生状況は、カンザワハダニの発生は平年よりやや少なく、一番茶の生育、収量への影響はみられなかった。

(参考)

気象概況 (2021年1月上旬～4月下旬、嬉野市)

観測点：嬉野アメダスポイント

